

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-002539  
(43)Date of publication of application : 08.01.1993

(51)Int. Cl. G06F 13/00  
G06F 13/00  
H04L 12/54  
H04L 12/58

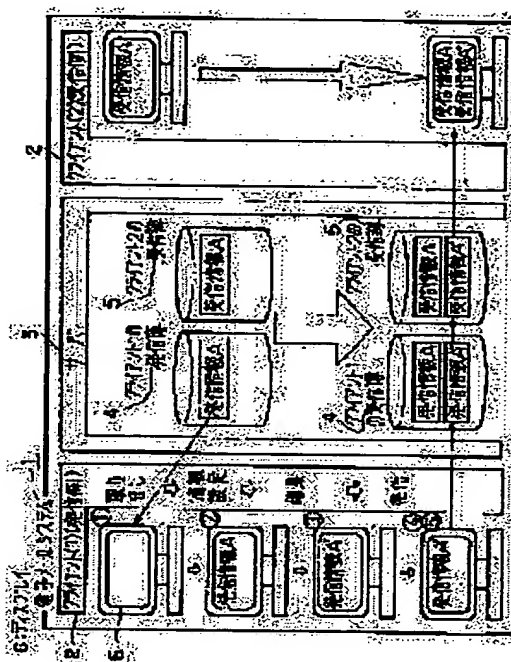
(21)Application number : 03-151532 (71)Applicant : FUJITSU LTD  
(22)Date of filing : 24.06.1991 (72)Inventor : IKUTA MASANAO  
ITAYA SATORU

### (54) ELECTRONIC MAIL INFORMATION EDITING SYSTEM

#### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To sharply reduce labor for inputting information at the time of transmitting an electronic mail by editing information selected from a transmitting/receiving list as an initial value to form/transmit a mail and making it possible to reuse the information of the transmitting/receiving list in an electronic mail information editing system.

**CONSTITUTION:** A transmitting list 4 for storing the information of transmitting mails is prepared, and at the time of transmitting a mail, a mail table for mails transmitted in the past is displayed from the list 4, selected mail information is displayed and edited by overwriting or the like, a new mail is formed based upon the edited mail information correspondingly to a transmission command, and then the formed mail is stored in the list 4 and transmitted to a destination.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.12.1995  
[Date of sending the examiner's decision of rejection] 03.02.1998  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-2539

(43)公開日 平成5年(1993)1月8日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 12/54

12/58

識別記号

3 5 1 G 7368-5B

3 5 3 M 7368-5B

庁内整理番号

8529-5K

F I

H 0 4 L 11/ 20

1 0 1 B

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 6 頁)

(21)出願番号

特願平3-151532

(22)出願日

平成3年(1991)6月24日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 生田 将直

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 板谷 悟

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

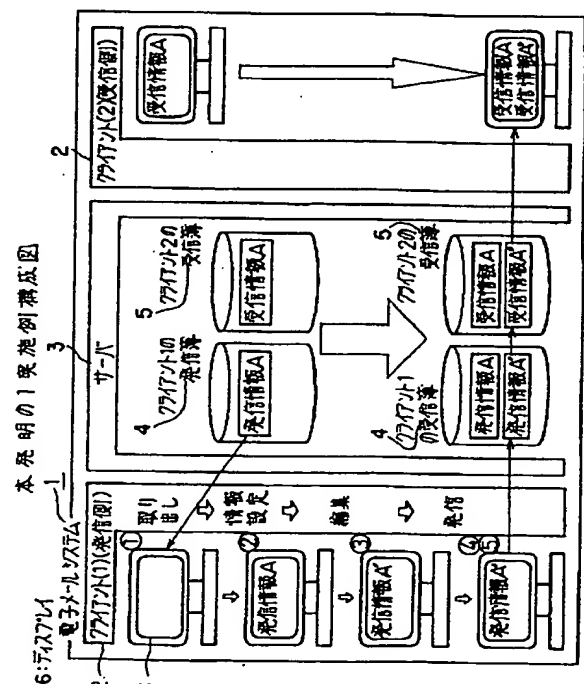
(74)代理人 弁理士 岡田 守弘

(54)【発明の名称】 電子メール情報編集方式

(57)【要約】

【目的】 本発明は、電子メール情報編集方式に関し、発信簿／受信簿から選択した情報を初期値として編集してメールを作成・発信し、発信簿／受信簿の情報の再利用を可能にして、電子メールを発信する際の情報を入力する手間を大幅に軽減することを目的とする。

【構成】 発信したメールの情報を保存する発信簿4を備え、メール発信時に、発信簿4から過去に発信したメール一覧を表示し、選択されたメール情報を表示し、この表示したメール情報について上書きなどして編集され、発信指示されたことに対応して、この編集されたメール情報をもとに新たなメールを作成して発信簿4に格納すると共にこのメールを宛先に発信するように構成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールの情報を編集する電子メール情報編集方式において、過去に発信したメールの情報を保存する発信簿（4）を備え、メール発信時に、上記発信簿（4）から過去に発信したメール一覧を表示し、いずれかが選択されたことに対応してこの選択されたメール情報を表示し、この表示したメール情報について上書きなどして編集され、発信指示されたことに対応して、この編集されたメール情報をもとに新たなメールを作成して発信簿（4）に格納すると共にこのメールを宛先に発信するように構成したことを特徴とする電子メール情報編集方式。

【請求項2】 電子メールの情報を編集する電子メール情報編集方式において、過去に発信したメールの情報を保存する発信簿（4）および受信簿（5）を備え、メール発信時に、上記発信簿（4）および受信簿（5）から過去に発信および受信したメール一覧を表示し、いずれかが選択されたことに対応してこの選択されたメール情報を表示し、この表示したメール情報について上書きなどして編集され、発信指示されたことに対応して、この編集されたメール情報をもとに新たなメールを作成して発信簿（4）に格納すると共にこのメールを宛先に発信するように構成したことを特徴とする電子メール情報編集方式。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、電子メールの情報を編集する電子メール情報編集方式であって、電子メールの管理簿の情報を再利用して編集する電子メール情報編集方式に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の電子メールにおける発信簿と受信簿は、図4に示すように、紙で情報を記録していた時代と同様に、単なる「記録」という概念から、脱していなかった。その利用方法は、過去に発信した文書あるいは受信した文書の確認が主であり、発信簿と受信簿に対し、電子的な情報という意識を多少持っているシステムでも、往復メールの返信などのようにその一部を何の編集もなしに発信情報として利用するのみであった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このため、従来の図4の電子メールにおける発信簿と受信簿の利用が単に過去の文書の発信と受信を確認するために利用できるようにされており、電子的に保存されている情報としてその特色を生かし、一度入力した情報に対するさまざまな加工や再利用を行うことができないという問題があった。例えば従来のシステムでは、利用者が一度発信して電子メールのサブジェクト（表題や簡単なメッセージ）やオブジェクト（文書本体）に一部修正を加えて、同じ利用者に再び発信したいというような場合でも、発信簿に以前

に発信したときの情報をそのまま保存してあるにも係わらず、その情報を利用できず、発信情報（宛先、サブジェクト、同封するオブジェクトなど）を最初から全て入力し直して、発信しなければならないという不便があった。

【0004】 本発明は、発信簿／受信簿から選択した情報を初期値として編集してメールを作成・発信し、発信簿／受信簿の情報の再利用を可能にして、電子メールを発信する際の情報を入力する手間を大幅に軽減することを目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、発信簿4は、過去に発信したメールの情報を保存するものである。

【0006】 受信簿5は、受信したメールの情報を保存するものである。ディスプレイ6は、初期値として過去に発信あるいは受信したメールの情報を表示して編集などするものである。

## 【0007】

【作用】 本発明は、図1に示すように、メール発信時に、発信簿4および受信簿5から過去に発信および受信したメール一覧をディスプレイ6上に表示し、このディスプレイ6上に表示されたメールの一覧からいずれかが選択されたことに対応してこの選択されたメール情報を表示し、この表示したメール情報について上書きなどして編集され、発信指示されたことに対応して、この編集されたメール情報をもとに新たなメールを作成して発信簿4に格納すると共にこのメールを宛先に発信するようにしている。

【0008】 従って、発信簿4および受信簿5から選択した情報を初期値として編集してメールを作成・発信することにより、発信簿4、受信簿5に保存されている情報の再利用を図り、電子メールを発信する際の情報を入力する手間を大幅に軽減することが可能となる。

## 【0009】

【実施例】 次に、図1から図3を用いて本発明の実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

【0010】 図1において、電子メールシステム1は、メール（電子メール）を宛先に発信したり、メールを受信したりするシステムであって、発信側のクライアント（1）や受信側のクライアント（2）、および送信するメールを管理する発信簿4、受信したメールを管理する受信簿5などから構成されるものである。

【0011】 クライアント（1）（発信側）2は、発信簿および受信簿の一覧をディスプレイ6上に表示したり、表示した一覧表から選択されたメールの発信情報／受信情報を取り出して表示したり、この表示された情報に上書きなどして編集して新たに発信しようとするメールを作成したり、この作成されたメールの発信指示に対

応して新たなメールを作成して発信簿に格納すると共に宛先にメールを発信したりなどするものである（図2のフローチャートを用いて後述する）。

【0012】クライアント（2）（受信側）2は、クライアント（1）（発信側）から送信されたメールを受信するものである。サーバ3は、発信簿4、受信簿5を管理したりなどするものである。

【0013】発信簿4は、過去に発信したメールの情報（図3の（二）参照）を保存するものである。受信簿5は、受信したメールの情報を保存するものである。

【0014】ディスプレイ6は、初期値として過去に発信および受信したメールの情報を表示して編集などするためのものである。次に、図2のフローチャートに示す順序に従い、図3を参照して図1の構成の動作を詳細に説明する。

【0015】図2において、①は、発信簿の一覧から利用するデータを指定する。これは、発信者が図3の（イ）に示す発信簿の一覧を、図1のクライアント（1）（発信側）2のディスプレイ6上に表示させ（図1の①）、この表示させた発信簿4の一覧から利用するデータ、例えば図3の（イ）の斜線の部分のデータを指定する。

【0016】②は、指定された発信情報を取り出して、初期値として設定する。この時、初期値として設定する内容は、

- ・サブジェクト（表題や簡単なメッセージ）
- ・オブジェクト（メールの本文）
- ・宛先（メールの発信先）
- ・発信属性（書留、秘密度、往復、返信要求期日など）
- ・その他

であって、これらを見やすいように例えば図3の（ロ）に示すように設定する（図1の②）。

【0017】③は、発信情報の編集を行う。これは、②で例えば図3の（ロ）編集前の発信情報と示すようにディスプレイ6上に表示されたものを、編集して図3の（ハ）編集後の発信情報に示すように編集する。ここでは、サブジェクトおよびオブジェクト1について、図示矢印を用いて示すように編集する（図1の③（発信情報Aを発信情報A'に編集））。

【0018】④は、編集された情報を元に新たなメールを作成する。⑤は、メールを発信する。これら④、⑤は、例えば③で編集された図3の（ハ）編集後の発信情報をもとに新たなメールを作成してこれを発信簿4に格納すると共に宛先に発信する。

【0019】以上の処理によって、発信者が発信簿（および受信簿）の一覧中から任意のメールを選択してその発信情報（および受信簿）を初期値として設定して表示し、この表示された発信情報（および受信簿）を上書きなどして編集し、新たなメールの発信情報を作成してこれをもとにメールを生成し、発信簿4に格納すると共に

宛先に発信することにより、発信簿4、受信簿5の情報を有効利用し、メールを発信する際に情報を入力する手間を大幅に軽減することが可能となる。

【0020】図3は、本発明の具体例説明図を示す。図3の（イ）は、発信簿の一覧を示す。これは、発信者がメールを発信する際に、発信簿4の発信情報の一覧を表示させた例である。ここでは、斜線を引いた上段のメールを選択し、その発信情報を図3の（ロ）編集前の発信情報に示すように表示する。尚、ここでは発信簿4の一覧を表示させたが、受信簿5の一覧あるいは両者の一覧を表示させ、往復の場合などに受信した情報の再利用を図るようにしてもよい。

【0021】図3の（ロ）は、編集前の発信情報を示す。これは、図3の（イ）で斜線を引いた発信情報を選択したときにその発信情報をディスプレイ6上に判り易く模式的に表示した例を示す。ここでは、上段から、サブジェクト（表題や簡単なメッセージ）、宛先1、宛先2、オブジェクト（本文）1、オブジェクト2、発信属性（書留、速達、返信期日）を順次表示している。

【0022】図3の（ハ）は、編集後の発信情報を示す。これは、図3の（ロ）の編集前の発信情報のうち、サブジェクト、オブジェクト1を図示矢印を用いて示すように修正したものであって、宛先1などは同一である。このように、同じ宛先1（第1開発部長鈴木）に、情報の一部を修正（ここではサブジェクト、オブジェクト1の修正）したメールを発信する場合に、過去に発信したメールの一覧を発信簿4から取り出してディスプレイ6上に表示し、これらから選択してその情報を修正するという簡単な入力操作によって、新たなメールを発信することが可能となり、メールを入力する手間を大幅に軽減することができる。

【0023】図3の（二）は、メール発信情報を示す。これは、過去に発信したメールの発信情報を発信簿4に保存したデータ形式を模式的に表わしたものであって、メール発信情報のオブジェクト名から実際のメール本体のオブジェクトがポイントされている。これらメール発信情報およびオブジェクトを判り易く表示すると、図3の（ロ）のようになる。

【0024】図3の（ホ）は、メールを示す。これは、図3の（ハ）の編集後の発信情報について、実際にメールとして発信するときのデータ構造を模式的に表わしたものである。ここで、メールのヘッダとして、既述した図3の（二）のメール発信情報の編集した後の情報を設定およびオブジェクトとしてメールの本文を設定し、これらをメールとして宛先に発信する。

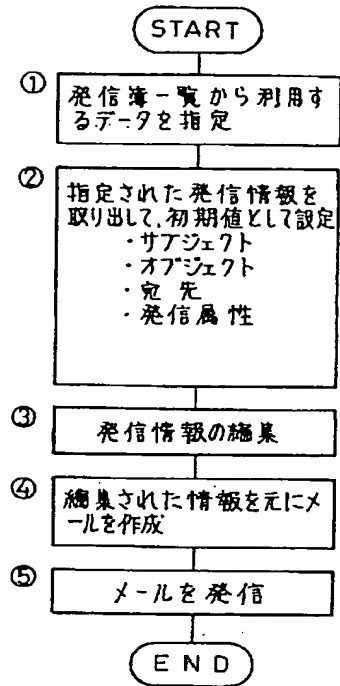
【0025】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、発信簿4あるいは受信簿5から選択した情報を初期値として編集してメールを作成・発信する構成を採用しているため、発信簿4、受信簿5に保存されている情報の再



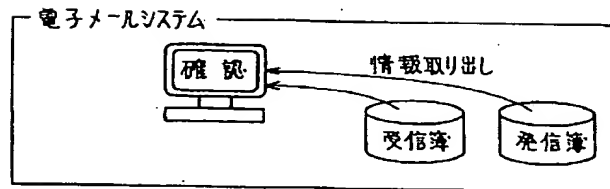
【図2】

本発明の動作説明フローチャート



【図4】

従来技術の説明図



[図3]

## 本発明の具体例説明図

## (1) 発信簿一覧

発信日	サブジェクト	受信者	受信日
91/03/11	本日の会議はB29会議室で行い	第一開発部長鈴木	90/03/11
91/03/09	先日の精算をお願いします	第一製造課山崎	90/03/09
91/03/08	今夜の予定は、入っていますか？	第一製造課山崎	90/03/08

(ロ)

## 編集前の発信情報

サブジェクト：本日の会議は、B29会議室で行います。

宛先1：第一開発部長鈴木

宛先2：

オブジェクト1：通知レポート

オブジェクト2：会議資料

発信属性：普通 往復 返信期日 年 月 日

編集

(ハ)

## 編集後の発信情報

サブジェクト：本日の会議はB28会議室で行います。先程のメールは破棄して下さい。

宛先1：第一開発部長鈴木

宛先2：

オブジェクト1：通知レポート改版

オブジェクト2：会議資料

発信属性：普通 往復 返信期日 年 月 日

## (ニ) メール発信情報

